

科目名 科目コード	生活援助技術Ⅱ 107	必修科目	1年次 2学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 加悦 美恵				
科目担当者	医学部看護学科 森本 紀巳子、平原 直子、宮本 いずみ、中山 麻由、臼井 麻里子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活行動に関わる援助をとおして、医療における安全、感染防止について考える。</li> <li>人の生活行動のうち、食事、排泄および口腔の清潔に関する基礎的な援助技術および知識、態度を身につける。</li> <li>人の健康状態を客観的に観察する方法として体温、呼吸、脈拍、血圧の測定方法を修得する。</li> </ol> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>患者の安全を守る方法を身につける - 感染防止、標準予防策、消毒</li> <li>口腔内を清潔にする援助技術を身につける - 口腔ケア</li> <li>食生活に関する援助技術を身につける - 食事の介助方法 (対象: 眼の見えない患者、上肢に障害のある患者、仰臥位で生活している患者、食欲のない患者)</li> <li>排泄に関する援助技術を身につける - 安静臥床患者に対する便器・尿器を用いた援助</li> <li>バイタルサインのもつ意味について理解する</li> <li>体温、呼吸、脈拍、血圧の測定方法を身につける</li> <li>体温、呼吸、脈拍、血圧と日常生活行動との関連を考える</li> <li>体温調節のための電法の技法を身につける</li> </ol> <p>上記目標の具体的な学習目標、学習内容については授業時に提示する。</p>				
授業計画	<p>第1・2回 ガイダンス、医療における安全 - 感染の成立と感染防止、スタンダードプリコーション、衛生的手洗い、廃棄物の処理、口腔ケア 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第3・4回 食生活に関する援助技術 - 食事介助 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第5・6回 排泄に関する援助技術 - 便器、尿器を用いた援助 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第7・8回 バイタルサインとは、体温・呼吸・脈拍の測定方法 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第9・10・11回 血圧測定の仕組み、血圧の測定方法（触診法、聴診法） 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第12・13回 バイタルサインの変動因子、電法の技術（氷枕、湯たんぽ） 担当者全員【講義・演習】</p> <p>第14・15回 総合演習 担当者全員【講義・演習】</p> <p>A, Bクラス別授業である。詳細はガイダンスで配布するスケジュールを参照のこと。</p>				
テキスト	必要時資料配布				
参考書	<p>深井喜代子編：新体系看護学全書基礎看護学②③ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、メヂカルフレンド社、2012</p> <p>阿曾洋子、井上智子、氏家幸子：基礎看護技術（第7版）、医学書院、2011</p> <p>他の参考書については、授業中に紹介する。</p>				
評価方法	<p>筆記試験 50%、実技試験 50%として総合評価する。</p> <p>出席状況とレポートならびに演習時の身だしなみが適切でない場合は減点の対象となりうる。</p>				
授業にむけての準備学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業は、学内実習を中心に行う。実習室使用時の留意事項を守ること。</li> <li>配布資料をファイルにして活用すること。</li> <li>履修にあたっては「看護学概論Ⅰ」「からだの構造と機能Ⅰ」「生活援助技術Ⅰ」で学修した知識と関連させながら、学ぶ姿勢をもって臨むこと。</li> </ol>				